

研究開発成果 実装支援プログラム
平成24年度 報告書

「女性の尿失禁予防・改善を目的とした
サポート下着の社会実装」

採択年度 平成23年度
実装機関名 滋賀医科大学
実装責任者 岡山 久代

1. 概要

1) 最終目標

ライフステージ各期の女性において、サポート下着を用いた腹圧性尿失禁予防・改善効果を実証し、簡易なセルフケアの1つとして社会的認知度を高め、定着させる。

2) 支援期間終了後の目標

- ① 成熟期・更年期女性を対象にサポート下着を用いた女性の腹圧性尿失禁予防・改善効果を実証する。(23～24年度)
- ② 滋賀県下の4つの市町村における成熟期・更年期の女性を対象とした健康支援事業(子宮がん検診)にて、腹圧性尿失禁の予防・改善についての啓蒙(知識・セルフケア方法)を実施する。(24～25年度)
- ③ 分娩後の女性を対象にサポート下着を用いた女性の腹圧性尿失禁予防・改善効果を実証する。(24～25年度)
- ④ 滋賀県下の4つの市町村の産婦人科において、腹圧性尿失禁の予防・改善に向けたセルフケアについての啓蒙を産後の標準ケアとして実施する。(25～26年度)

2. 実装活動の具体的内容

1) 成熟期・更年期女性を対象にサポート下着を用いた腹圧性尿失禁予防・改善効果を実証

- ① 腹圧性尿失禁症状を有する人の調査
 - 23年度に実験開始した対象の終了時の評価を実施
 - サポート下着群、骨盤底筋体操群、対照群の実施
- ② 3ヶ月後の効果の継続率
 - 実験終了後のフォローアップ期間のデータ収集と評価
- ③ 症状を有しない人の調査
 - 上記①と同じ
- ④ フォローアップ調査
 - 3ヶ月後の調査終了時点で症状が軽減していない人(主に対照群)15名を対象
 - サポート下着と骨盤底筋体操の組み合わせを6ヶ月間実施
 - 評価はMRIと骨盤底筋収縮力

2) 健康支援事業での啓蒙

- ① 教育媒体作成
 - 上記①～③の結果を元にセルフケアのパンフレットを作成

3) 分娩後の女性を対象にサポート下着を用いた女性の腹圧性尿失禁予防・改善効果を実証

- ① 腹圧性尿失禁症状を有する人の調査
 - リクルート(滋賀県内の産婦人科)
 - 3ヶ月間の実験開始

➤ サポート下着群、骨盤底筋体操群、対照群の実施

② 3ヶ月後の効果の継続率

1. 実験終了後のフォローアップ期間のデータ収集と評価

③ 症状を有しない人の調査

➤ 上記①と同じ

4) 評価方法の妥当性の検討

① MRIによる女性の骨盤内臓器の位置とPFM trainerによる骨盤底筋の収縮力の関連性の分析

➤ 60名の女性(27-59歳)を対象

➤ MRIとPFM trainerとの有意な相関を確認

➤ PFM trainerの妥当性が確認できたので、今後の研究で簡便な方法として使用できる。

(15th World Congress on Human Reproductionにて発表)

3. 理解普及のための活動とその成果

(1) 展示会への出展等

なし

(2) 研修会、講習会、観察会、懇談会、シンポジウム等

年月日	名称	場所	概要	ステークホルダー	社会的インパクト
平成24年11月23日	看護理工学キックオフシンポジウム	東京大学	テーマ：医学・理工学と連携した看護研究－縦型オープンMRを用いた研究から見えてきたこと－ 対象：創傷、オストミー・失禁（WOC）看護認定看護師、および看護・医学・理学・工学の研究者約200名 内容：これまでの研究の概要と実装に向けての専門家への情報提供 目的：専門家への普及活動方法を検討すること		

(3) 新聞報道、TV放映、ラジオ報道、雑誌掲載等

なし

(4) 論文発表（国内誌 3 件、国際誌 件）

- 二宮 早苗，齋藤 いずみ，遠藤 善裕，森川 茂廣，荒木 勇雄，正木 紀代子，齊藤 祥乃，岡山 久代：縦型オープン MR を用いた膀胱頸部位置の評価に影響を与える要因の検討．日本女性骨盤底医学会誌，9(1)，60-63，2012，査読無．
- 二宮早苗，森川茂廣，遠藤善裕，正木紀代子，齊藤祥乃，土川祥，森みどり，岡山久代：骨盤内臓器の位置評価における体位の影響の検討．滋賀医科大学雑誌，26(1)，17-22，2013，査読有．
- 二宮早苗，坂本品子，小山真，正木紀代子，森川茂廣，遠藤善裕，岡山久代：女性の尿失禁への対処行動と治療に対するニーズのインターネット調査．滋賀医科大学看護学ジャーナル，11(1)，18-22，2013，査読有．

(5) WEBサイトによる情報公開

なし

(6) 口頭発表（国際学会発表及び主要な国内学会発表）

① 招待講演（国内会議 1 件、国際会議 件）

- 岡山久代：医学・理工学と連携した看護研究－縦型オープンMRを用いた研究から見えてきたこと－．看護理工学キックオフシンポジウム．東京．2012.11.23.

② 口頭講演（国内会議 2 件、国際会議 件）

- 岡山久代，二宮早苗，正木紀代子，齋藤祥乃，森みどり，土川祥，遠藤善裕，森川茂廣：女性の骨盤底の評価方法の検討－骨盤内臓器位置と骨盤底筋力の評価－．生体医工学，50巻特別号，120，福岡市，2012.5.11.
- 岡山久代，土川祥：分娩後の骨盤底弛緩に対する骨盤底筋体操とサポート下着を用いた縦断的介入研究．第14回日本母性看護学会学術集会抄録集，33，神戸市，2012.6.12.

③ ポスター発表 (国内会議_____件、国際会議_3_件)

- Sanae Ninomiya, Izumi Saito, Hisayo Okayama, Kiyoko Masaki, Sachi Tsuchikawa, Yoshino Saito, Shigehiro Morikawa, Yoshihiro Endo: Relationship between childbirth and pelvic relaxation: evaluation of the bladder neck position by using magnetic resonance images in a sitting position. International Federation of Gynecology and Obstetrics (FIGO) World Congress 2012, Rome, 2012.10.10.
- Kiyoko Masaki, Hisayo Okayama, Sanae Ninomiya, Yoshino Saito, Sachi Tsuchikawa, Akiko Sakamoto, Shigehiro Morikawa, Yoshihiro Endo: Investigation of the current state regarding Japanese women with urinary incontinence symptoms and self-care activity. International Federation of Gynecology and Obstetrics (FIGO) World Congress 2012, Rome, 2012.10.10.
- Hisayo Okayama, Sanae Ninomiya, Kiyoko Masaki, Kyoko Nakanishi, Midori Mori, Yoshino Saito, Sachi Tsuchikawa, Yoshihiro Endo, Shigehiro Morikawa: Relevance of pelvic-viscera position using MRI and pelvic floor muscle contraction using PFM trainer in female. 15th World Congress on Human Reproduction, Venezia, 2013.3.13.

(7) 特許出願

- ① 国内出願 (0 件)
- ② 海外出願 (0 件)

(8) その他特記事項